

送 辞

冬の厳しい寒さも和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じるようになりました。この佳き日にめでたく卒業を迎えられる卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心より御祝い申し上げます。

皆様におかれましては、作新学院大学女子短期大学部に入学してから今日に至るまで、様々な御経験をされたことと思います。その中には楽しかったこと、感動したことだけでなく、苦しかったこと、悔しかったこともあったはずです。卒業というこの旅立ちの日に、そうした経験を懐かしく思い返されていることでしょう。

私達が入学してから先輩方との初めての行事となったハロウィンパーティーでは、先輩方と協力して行うゲームやダンス発表などを企画していただき、私達を楽しませてくださいました。スポーツ大会や学外オリエンテーションでも様々な楽しい活動を企画していただきました。

コロナ禍によって行事が中止となってしまうこともあり、先輩方が企画してくださった行事が開催できなかったこと、先輩方が創り上げてくださったクラスごとのスタンプ発表を見ることができなかったこと、そして先輩方と共に過ごせる時間が限られてしまったことをとても残念に思います。しかし先輩方はどんな時も笑顔で、強い団結力を持ち、何事も全力で楽しむ姿勢を私達に見せてくださいました。そんな先輩方から作新短大での生活の楽しさを学び、将来の夢への期待が膨らみました。先輩方は私達にとってとても大きな存在であり、憧れと誇りを抱いています。私達も先輩方のように尊敬される存在となれるよう、日々精進して参ります。

先輩方は明日からそれぞれの道を歩むことになります。道は違えども、作新短大での経験は先輩方の糧となるはずです。時にはこれまで経験したことのない試練が待ち受けているかもしれません。しかしそんな時こそ、これまで乗り越えてきた苦難や仲間との楽しい思い出、この学び舎で身につけた知識が役に立つことと思います。皆様が選んだ道を胸を張って歩んでください。私達も作新短大での学びを大切に、その伝統を受け継ぎ、さらに発展させる覚悟です。先輩方も作新短大での日々を忘れることなく、私達在校生を温かく見守り、ご支援くださいますよう心より御願い申し上げます。

最後となりますが、卒業生の皆様の御健康とさらなる御活躍を心より御祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和三年三月二十一日 作新学院大学女子短期大学部
在校生代表 加藤麗奈

